



# おとこの子とおもっていた犬

アネット作 ロレイン絵 光吉夏弥訳 大日本図書

ピーターはたんじょうびに、子犬こいぬのラルフをもらいました。いっしょにくらすようになる、ラルフはまるでにんげんのようにふるまいはじめました。二にほんありであるいたり、いすにすわって、ごはんをスプーンでたべたりするので。ラルフはにんげんばかりの中になかいたので、じぶんもおとこの子とおもっていたのでした。

ピーターのかぞくはラルフが犬だと、どうにかしてわからせようとしています。そして、ピーターがいいことをおもいつきません。

